

創立記念日にあたって

2001年8月23日に誕生した当社は、この度お陰さまで22周年を迎えることができました。当社を長年に亘って支えて頂きましたお客さま、株主の皆さまをはじめ、多くの関係各位に心より御礼申し上げます。23年目の飛躍に向けて役職員一丸となり、一日一日を大切に積み重ねていく所存でございます。

2023年8月23日
役職員一同

令和5年度全国労働衛生週間を迎えるにあたって (社長メッセージ)

皆さん、毎日のお仕事、誠にご苦労様です。

今年も全国労働衛生週間が10月1日から7日までの一週間、厚生労働省および中央労働災害防止協会の主催で全国一斉に行われます。本週間は、労働者の健康確保と労働衛生意識の高揚を目指し、昭和25年から毎年実施され、今年で74回目になります。

今年度のスローガンは「目指そうよ二刀流 こころとからだの健康職場」です。働く上で基本となる健康の確保について、「こころ」と「からだ」の両面から対策を進めることで、誰もが快適で健康に働ける職場づくりを目指していくことを表しています。

本週間を機に、自分自身と対話してみましょう。適宜リフレッシュはできていますか?強いストレスや悩みを抱えていませんか?

また、いつもと雰囲気の違う仲間がいたら積極的に声をかけましょう。皆さん自身と一緒に働く仲間の心とからだの健康が、職場環境全体の健康にもつながります。より良い職場環境づくり、健康管理の推進を役職員一丸となって取り組みましょう。

2023年10月1日

代表取締役社長 島袋 久哉

政府によるガス料金の軽減措置の期間延長について

当社は、政府の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」によるガス料金の軽減措置を、2023年1月使用分から9月使用分まで実施しています。(2023年4月号 Vol.18 掲載)。

このたび、政府が本事業の継続を決定したことを受け、ガス料金の軽減措置を以下のとおり延長します。

■ 政府の支援による軽減措置 (値引き単価)

現行分及び今回延長分の政府の支援による軽減措置の値引き単価(税込)は、以下のとおりとなります。

区分	現行分 政府支援による軽減措置 (値引き単価)		今回延長分 政府支援による軽減措置 (値引き単価)
	2023年1月使用分 ~8月使用分	2023年9月使用分	2023年10月使用分 ~12月使用分
LNG	36,466円/t	18,233円/t	18,233円/t
天然ガス	30円/m ³	15円/m ³	15円/m ³
都市ガス	30円/m ³	15円/m ³	15円/m ³

工事店さまを招いて「内管工事仕様勉強会」を開催

8月23日(水)に、保安レベルの向上を目的に毎年社内で行っている「ガス内管工事仕様勉強会」について、「ガス工作物工事の基本協定」を締結いただいている工事店さまにお声掛けしたところ、6社から各1名参加され、当社社員と共に内管工事仕様について理解を深める機会となりました。

参加された工事店さまからは、「以前内管工事した際に不明だったところが理解できました」といった声もいただき、有意義な勉強会を実施することができました。

また、勉強会と併せて社内で行っている「ガス漏洩仮処置訓練」についてもデモンストレーションを通じて使用する工具や手法を紹介することができました。

これまで個別に工事店さまを招いての勉強会を開催してきましたが、この度初の試みとして全ての工事店さま(9社)にご案内し、6社にご参加いただきました。参加いただいた工事店さま間で名刺交換されるなどコミュニケーションを図る良い機会となりました。



▲勉強会の様子



▲漏洩処置訓練デモンストレーションの様子

育児奮闘記

第一子の誕生を機に「産後パパ育休制度」*を活用して育児に奮闘中の総務部新里課長の感想を紹介します。

*「産後パパ育休制度」は、男性の育児休業取得促進のため、産後8週間以内に4週間(28日)を限度として2回に分けて取得できる休業で、1歳までの育児休業とは別に取得しやすい柔軟な制度です。



▲新里家のリトルモンスター

Q: パパ育休を取得することに不安はありましたか?

A: 出産前から妻よりパパ育休を取得してほしいと話がありましたが、休むことで職場に迷惑をかけるのではないかと不安を感じていました。上司や同僚に相談したところ、「親として子育てに協力するのは当たり前だし、奥さんもすぐ助かるはず」との後押しもあり、2回に分けてパパ育休を取得することにしました。当社は働きやすい環境はもちろんのこと、休みやすい環境も整備されており、社員を大切にすることがある会社だと思っています。

Q: パパ育休を取得してみてどうでしたか?

A: 妻からは、「一番子育てが大変な時期に休んで協力してくれたことに、物凄く感謝している」と最大級の賛辞を受けました。子のオシッコの洗いを浴びたり、寝かすのに時間を要するなど最初は苦労しましたが、オムツの早替えの技術を学び、ミルクの温度調整の感覚を磨き、抱っこから寝かせるまでの段取りを得たことで、育児の楽しさとともに親としての自覚も芽生え、まさに育自だと実感しました。子の何とも言えない表情に癒されたり、夫婦の絆を確認できたりと、パパ育休を取得して本当に良かったです。

編 / 集 / 後 / 記 /

◎ 今年の1月から一念発起してダイエットを敢行。大好きなスイーツを制限し(+妻の指導)、人知れずブートキャンプに励んだ結果、18キロ減の高校以来の60キロ台にダウンし健康体におかげでズボンも買い替え。でも食べたいものが食べられないのはこんなにキツイのですね…。

◎ FIBA バasketball World Cup 2023 日本対フィンランド戦を自宅で観戦していました。第3クォーター日本代表がフィンランドに18点差をつけられた時点でチャンネルを変えた。翌朝、出勤途中車内のラジオからAKATSUKI JAPANが勝ったとのニュース。チャンネルを変えたことを後悔した。

1 【社内研修】

メンタルヘルス研修

8月24日(木)に、独立行政法人 労働者健康安全機構 沖縄産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員を務めている前里久誌さまをお招きし「職場におけるメンタルヘルス対策」をテーマに社内研修会を行いました。
自分の健康を守る対処法(セルフケア)や管理監督者が行うケアの対応法(ラインケア)など心の健康について学び理解を深めました。



▲研修の様子

廃棄物管理基礎研修

廃棄物を排出する事業者には、自らの責任において適正に処理しなければならない責務が課せられていることから、基礎的な廃棄物管理について理解することを目的として、以下の研修を実施しました。
また、研修後は受講者の理解度を確認するため、理解度チェックテストを行いました。

廃棄物管理基礎研修の主な研修内容

1. 廃棄物処理法とは
2. 廃棄物管理が重要な理由
3. 不要物が発生したら
4. 不要物の保管を行う
5. 廃棄物の処理を行う
6. 重い排出事業者責任



2 【社外研修】

Daigas エナジー(株)さまへの短期留学(消費機器調査業務)

当社はガスの保安維持向上に向け、保安技術、ベースとなる感受性等のスキルアップを図っています。今回、「大手ガス会社に学ぶ」をテーマに、Daigas エナジー(株)さまへ短期留学を実施しました。
これは、当社では経験できないスキル(モノ、質、物量)の習得を目指すもので、今後、当社の人財の骨格になってくれると期待されます。
短期留学は、「消費機器調査(小売事業者)」と「内管工事(導管事業者)」の2コースを予定。各1名を派遣します。今後、得られたノウハウを当社へ展開し、保安とサービス向上を推進して参ります。

＜受講者のコメント＞上石 将暉さん

9月5日(火)から9月16日(土)までの2週間、本年度研修計画に基づき、Daigas エナジー(株)さまで短期留学をしました。
目的は、法令に基づく定期保安業務を通して、今後の当社のガス保安の在り方やレベル向上を図ることです。初日は施設見学をしながらゆっくり馴染んで…のはずだったのですが、国への報告が必要な事故が発生したため、早速作業服をお借りして現場へ。その後もガス漏れや不燃管調査、吸排気不良改善など目白押しの濃い留学となりました。沖縄でも大阪でも法令を遵守した保安業務を行うことになりました。過去に事故事例が背景にあると指導を受け、作業の一つ一つに

根拠があって、それが現場全体に沁み込んでいることにとても感心し、結果的に「大阪ガスの保安マインド」を肌身で感じることができました。
今年からは、吉の浦-牧港ガス導管の維持管理や牧港ガスエンジン向け輸送が始まり、当社のガス事業は拡大のチャンスと捉えています。今後も、お客さまから選ばれ信頼されるガス事業者であるためには、既存業務のブラッシュアップは必須です。この度の留学で得られた知見や気づきを発信し、より質の高い「当社の保安マインド」を醸成できるように精進して参ります。



▲上石さん(左)とDaigas エナジー関係者さま



▲給湯器の給排気不良改善工事の様子

3 【社内表彰】

永年勤続者表彰

8月24日(木)に、永年勤続者表彰が行われました。

＜受賞者のコメント＞比屋定 優さん

この度は勤続20年の表彰をいただきまして心より感謝申し上げます。
私が入社したのは2002年。会社設立から1年余り、社員数も13名と現在の1/3程度でした。入社当時はオンサイト電源事業の営業を担当し、新規のお客さまへ自家用発電設備導入の提案を行うべく県内を走り回っていた記憶がございます。また、2007年からは管理部(当時)へ異動になり、主に経理を担当することになりました。経理については全くの素人で参考書を片手に業務に取り組んでいました。
2015年、天然ガス供給事業の開始に伴う社員の増加、新社屋建設、本社移転は非常にインパクトが強く印象に残っております。
20年の長きに亘り勤めてこられたのも多くの先輩方、同僚の皆さまをはじめ関係会社の方々のおかげであります。
私はあと数年で定年を迎えますが、この表彰を機に改めて新鮮な気持ちで仕事に向き合いたいと思います。大変ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。



▲表彰された比屋定次長

4 【社内イベント】

第3回ウォーキングイベント

8月1日(火)から9月30日(土)の61日間の日程で、社員の健康増進を目的に「PECウォーキングイベント」を開催しました。
平日歩数を1,500歩、休日歩数を3,000歩とし、目標歩数を181,500歩としました。日々の歩数は、スマートフォンのアプリなどを活用し計測・記録しました。歩数記録の上位1位から5位は左記の通りです。

表彰一覧

1位	橋本課長	559,137歩
2位	島袋社長	436,692歩
3位	西浜主任	354,111歩
4位	仲原常務	328,560歩
5位	知名課長代理	325,510歩



▲写真中央が1位の橋本課長

1位＜橋本さんのコメント＞

前回に引き続き、ウォーキング王に輝くことができ、大変、光栄に思います。
50歳を超えたことから、「健康寿命を延ばす」ことを意識して、できる限り、歩く！自転車を含め、週末、積極的に行動しました。課題は、お酒の量で、頑張っ、体形のスリム化を目指します！

5 【社会貢献】

①職場体験受け入れ

7月27日(木)、28日(金)の2日間、中城中学校2年生2名の生徒による職場体験学習を受け入れました。
初日は当社事業の概要を説明した後、総務部で文書のファイリングや古紙の処分など、細かい作業から仕事まで体験してもらいました。
2日目は、ガス業務課の橋本課長によるガス供給設備についての説明、および電機課の照屋さんによる可倒式風力発電設備のメンテナンスについて説明を行い、当社事業の理解を深めていただきました。
また、沖縄電力吉の浦火力発電所のご厚意により、発電所構内を車窓から見学する機会をいただき、2日間の職場体験を終えました。



▲ガバナ室での説明の様子



▲電機課照屋さんによる説明の様子

＜総務部担当者コメント＞

今回、初めての職場体験の受け入れでしたが、私たちも新鮮な気持ちで迎え入れることができ、貴重な経験となりました。
後に中学校より、生徒は初めての体験で、仕事に対する考え方がより現実的に捉えられる機会になったとお礼をいただきました。
今回の職場体験が今後の人生の一助となれば幸いです。

②献血への協力

沖縄県赤十字血液センターから献血の協力依頼があり、7月18日(火)、沖縄電力吉の浦火力発電所構内において、当社から6名の役職員が献血に協力しました。



▲献血風景